

# 混迷する高大接続改革と コロナ禍での大学入試広報を考える

- I. 混迷する高大接続改革
  1. 世界的に特殊な日本の高大接続
  2. 結局中途半端な日本の高大接続改革
  3. 高校生を“その気”にさせる大学への道筋を、  
いかに“デザイン”するか
- II. コロナ禍での大学入試広報を考える  
～ みなさんと一緒に ～

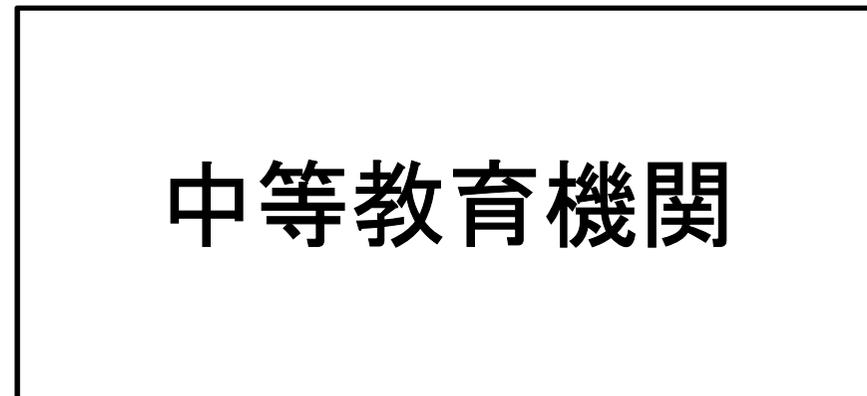
出光 直樹（横浜市立大学）

[naoki@idemitsu.info](mailto:naoki@idemitsu.info)    <http://www.idemitsu.info>

# プロフィール

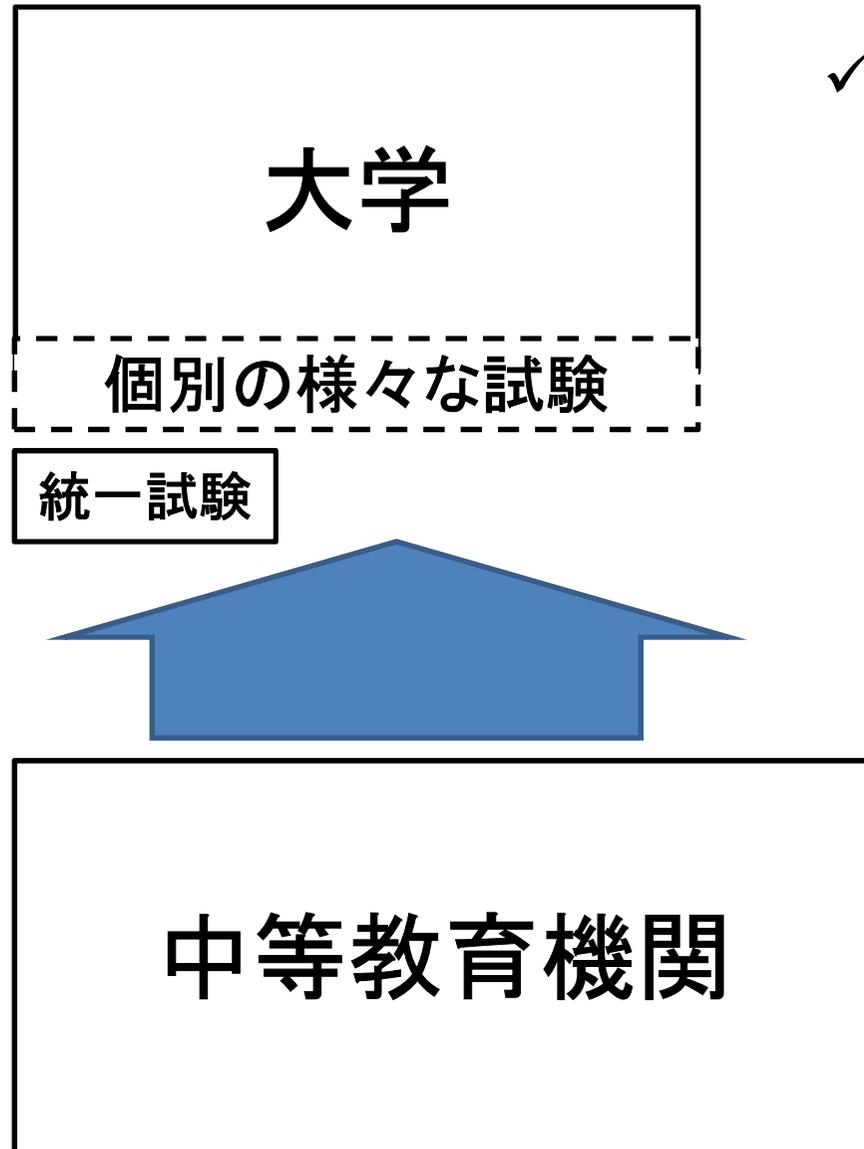
- 1990年札幌学院大学人文学部人間科学科卒業
- 1997年桜美林大学大学院 国際学研究科 博士前期課程修了
  - ・ 1999年博士後期課程中退（専門は高等教育論）
- その他、米国のコミュニティカレッジ、豪州の大学院に遊学。趣味で放送大学を3回卒業。
  
- 1999年10月桜美林大学職員（大学教育研究所、アドミッションセンター）
- 2005年9月より横浜市立大学 アドミッションズセンター
  - アドミッション課 専門職・学務准教授
- 2014年～2018年には、桜美林大学大学院 大学アドミニストレーション研究科で授業科目『大学アドミッション』を、非常勤講師として担当。

# 統一入試型



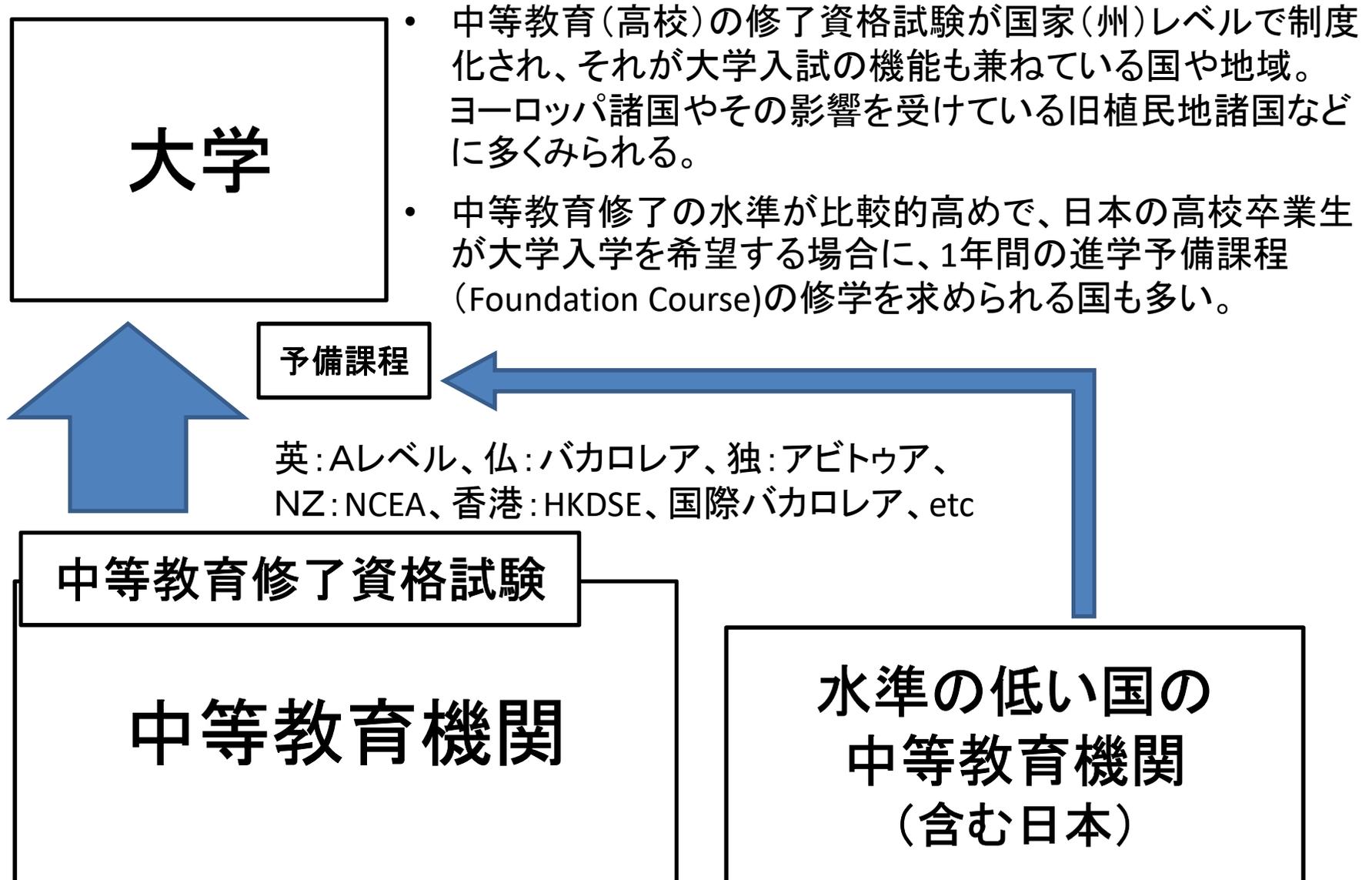
- 国家レベルの統一試験が実施されるタイプ。
  - 中国： 高考（全国普通高等学校招生入学考試）
  - 韓国： 修能（大学修学能力試験）
  - 台湾： 学測（大学学科能力測驗）
- ただしこれらの国においても、統一試験に拠らない選抜方式が導入されている。
  - 韓国の入学査定官制度（AO入試）

# 日本は・・・



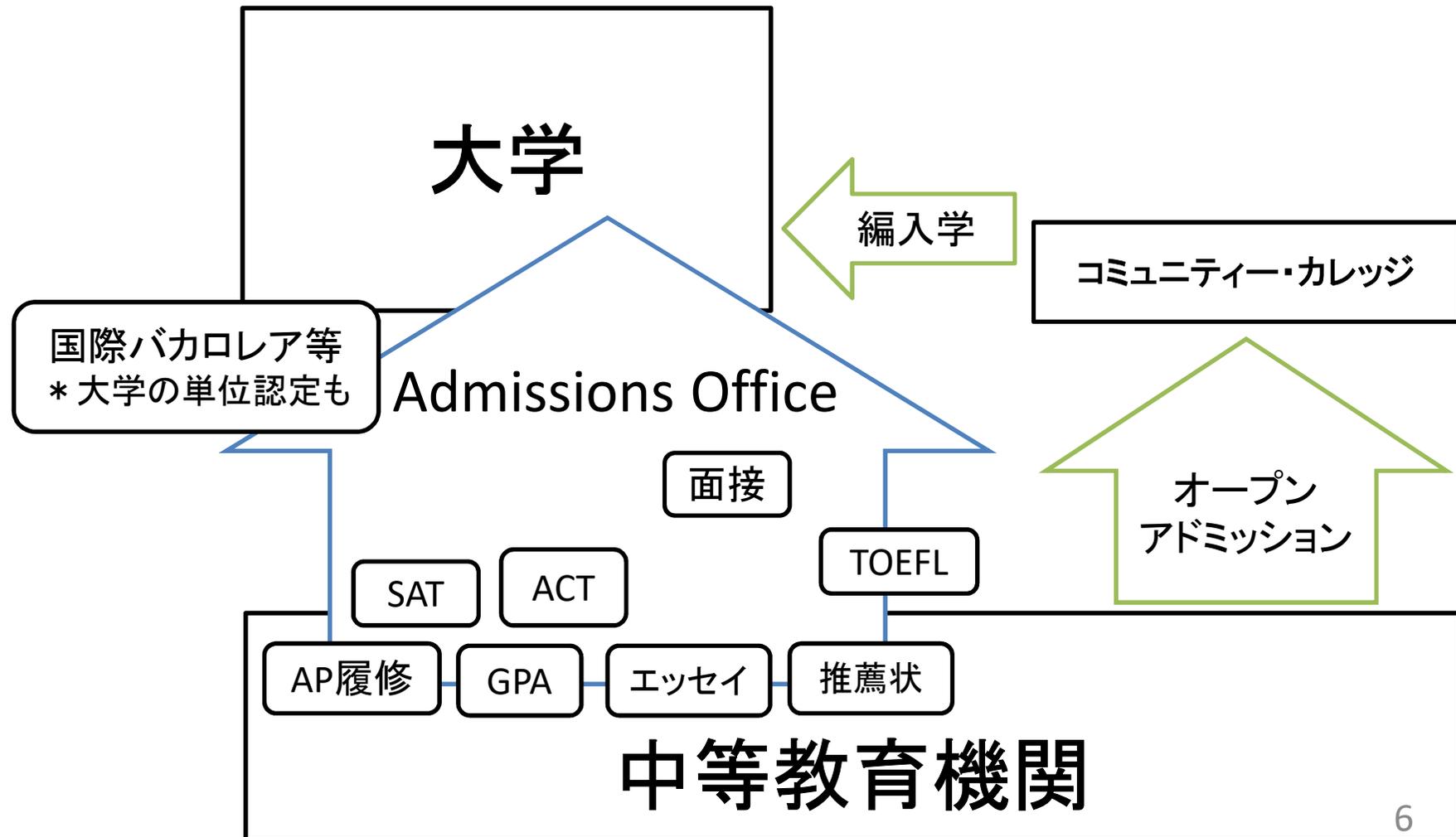
- ✓ 日本は部分的に統一試験を実施活用するが、基本的には各大学が独自の試験を実施する、世界的に見て独特なスタイル。
  - － 一般入試、推薦入試、AO入試、留学生入試、帰国生入試、社会人入試などなど、日本の大学入試は、他国に例を見ないほど多様。

# 中等教育修了資格試験型



# アメリカ型

- Admissions Office (入学者選抜室) の専門職員による書類審査が基本。
- 書類審査の材料として、様々な材料(標準テストも含む)を用いる。



# 結局中途半端な日本の高大接続改革

- 高校生の「学力把握」 & 受験生の「選抜」
  - 諸外国のような中等教育の達成度を測る制度の無い中で、我が国は受験競争の圧力によって高大接続のための学力担保が図られてきた。
  - しかし、少子化による高等学校や大学への全入時代を迎え、高等学校の教育課程の多様化と大学の選抜機能の低下により、高等学校における基礎的教科・科目の普遍的な履修とその学力の担保が機能しなくなった。

## 【参考文献】

渡邊 一雄 編(2010)『大学の制度と機能』

<https://amzn.to/333IHU3>

佐々木 隆生(2012)『大学入試の終焉：高大接続テストによる再生』

<https://amzn.to/36kVH9W>

# 忘れられた「学力把握」の仕組みづくり

- 「高大接続テスト」(2010/9)
  - 大学入試センター試験は、基本的には各大学における選抜の判定資料となる**集団準拠型**の試験であり、これを基礎学力の達成度測定の為の試験として利用するのは不可能。
  - それゆえ「高大接続テスト」はセンター試験の改変ではなく、**目標準拠型**の新たなテストとして設計し、段階評価や複数回実施を取り入れる。



しかし...

- 「高等学校基礎学力テスト」(2016/3)
  - 当面は大学入学者選抜(や就職)には活用しない。
- 「高校生のための学びの基礎診断」(2017/7)
  - 共通試験ではなく、一定の要件を満たした民間の試験等を認定。

# 大学入試センター試験と 後継試験に対する過剰な期待

- 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」
  - 「高大接続改革答申」(2014年12月)
    - 「合教科・科目型」「総合型」問題の導入、記述式の導入、段階評価による成績提供、CBT実施を前提、複数回実施の検討
  - 「高大システム改革会議 最終報告」(2016年3月)
    - 「合教科・科目型」「総合型」問題は消える。マークシート式(素点)と記述式(段階評価)の併用、CBTは先送り、マークシート式と記述式の別日程で何とか複数回？
- 「大学入学共通テスト」(2017年7月)
  - 英語は認定された民間試験(4技能)と共通試験(2技能)の併用、「国語」「数学Ⅰ」「数学ⅠA」で記述式を併用、実施日程は現行どおり、成績提供は1週間遅れる。

# コスト・パフォーマンスを省みない入試改革

- リスニング試験の導入(2006年度～)
  - 試験時間の約9%、配点(素点)の約5%に対して、マニュアル(監督要領)に占めるページ数は約38%!
- 公民・理科での2科目受験方式(2012年度～)
  - 科目選択の弾力化と引き換えに、120分かけて1科目を解答する“裏技”と、それを封じる「第1解答科目」縛りの登場。
- 英語4技能資格(~~2021年度~~～ → 延期?)
  - 4技能の一体的評価への無意味なコダワリ  
→ 従来型英検の不採用とTOEICの離脱。

# 高校生を“その気”にさせる大学への道筋を、 いかに“デザイン”するか

- 現在進められている入試改革は、大学進学者層のほんの一部にしか影響を与えていない。

山村 滋／濱中 淳子／立脇 洋介(2019/8)

『大学入試改革は高校生の学習行動を変えるのか』ミネルヴァ書房

<https://amzn.to/2PxIIINl>

日本経済新聞(2019/8/12)

「2020年度の大学入試改革 高校生「学習離れ」防げず」

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO48406810Z00C19A8CK8000/>

- 2012年4月から3年間にわたって首都圏の公立高校(地元で1番手とみなされる進学校4校、3~4番手ほどに位置付けられる中堅進学校6校)の生徒約3300人を対象とした追跡調査による研究。
- “入試改革”は一部の進学校の生徒にしか影響を与えておらず、多くの高校生の学習行動の活性化には結び付いていないことが示唆される。

# 日本の環境における入試のデザイン

- 競争的選抜に用いる為の集団準拠的な指標と、母集団の設定や底上げの為の目標準拠的な指標の正しい使い分けと組み合わせ。
  - 共通試験、個別試験、外部資格の役割分担。
  - 1点刻みの一発勝負の納得性。
- 推薦入試(特に指定校制)という知恵
- 中間層の高校生のための、目標準拠型標準テストの国家的必要性。

# 【参考】MMIを活用した 横浜市大 医学部医学科「特別推薦入試」

- 2005年の法人化以降、後期日程を廃止し、60名(当時)の入学定員全てを、一般選抜の前期日程のみで募集。
- 地域枠等の導入で募集人員が90名まで増える中、入学者の学力・モラルの低下や地域枠の不人気が課題に。
- 面接を重視した推薦入試を検討する中で、カナダや英国の医科大学が実施しているMMI(Multiple Mini Inetrview)に注目。
- 英語資格、面接、センター試験の3要素の組み合わせを検討

	出願時の 英語資格	11~12月の 面接	1月中旬の センター試験	2月上旬の 面接
1案	高水準で求める	○	×	×
2案	求める	○	○	×
3案	求めない	×	○	○
4案	求めない	×	○	×

	特別推薦入試				国際 バカロレア 入試	一般選抜		
	県内枠		県外枠			一般枠	地域枠	指定枠
	地域枠	指定枠	地域枠	指定枠				
2015年度	***	***	***	***	***	60	25	5
2016年度	5	***	***	***	***	60	20	5
2017年度	5	***	***	***	***	60	20	5
2018年度	5	***	***	***	***	60	20	5
2019年度	8	***	***	***	2	58	17	5
2020年度	7	2	4	1	2	58	14	2
2021年度	10	2	5	1	2	58	10	2

2016～2017年度の特別推薦入試は、横浜市立高等学校全校(9校)  
 +その他神奈川県内で本学医学部医学科に合格実績(2009年度  
 入試以降)のある高等学校(37校→38校→41校)が対象。

## ＜選考方法＞

2019年度までは1校1名、2020年以降は条件により2名まで応募可。

### 11月 書類審査

- 英語資格(3.0～5.0) + 高校成績(4.3～5.0)  
3.0 = 英検2級・TOEIC500・TOEFL48・IELTS4.5・GTEC1000(4技能)  
5.0 = 英検準1級・TOEIC700・TOEFL76・IELTS5.5・GTEC1280(4技能)

### 12月 面接 10分×5回の Multiple Mini Inetrview (1000点)

- 5つの面接室のうち、最初の2つは提出書類(志願理由書)による質疑応答というオーソドックスなスタイル。後半の3つは状況課題によるスタイルで実施。
- 面接の評価者には、他職種連携の考え方も反映し、医学科(病院)教員のみならず、看護学科教員や入試・学務の職員も加わる。

### 1月 共通テスト(1000点)に↑面接点を加えて最終合否

- 共通テストの点数は、一般選抜の第1段階選抜合格者の平均点(例年85%くらい)以上との条件も。

# コロナ禍での大学入試広報を考える

## 【参考1】横浜市立大学の様々な学部入試(一部略)と対応案

	出願時の資格	選考方法	コロナ禍への特別な対応等
総合型選抜	英語資格	書類審査 → 面接	部分的にオンライン面接？
海外帰国生・IB・社会人	英語資格	筆記試験＋面接	神様に祈る？
科学オリンピック	コンテスト ＋英語資格	筆記試験＋面接	中止・延期となったコンテストへの対応？
外国人留学生	日本留学試験 ＋英語資格	筆記試験＋面接	【決定済】日本留学試験の対象回の拡大
指定校推薦	英語資格	面接	部分的にオンライン面接？
特別推薦	英語資格	書類審査 → 面接 → 共通テスト	MMI面接のオンライン化は かなり難しい。
公募推薦	無し	共通テスト	神様に祈る？
一般選抜	無し	共通テスト＋2次試験	追試は面接のみ対応？ 他科目は共通テストのみ？

# 「令和3年度大学入学者選抜実施要項」 (2020/6/19 文部科学省高等教育局長) のポイント

- 総合型選抜の出願受付： 9/1以降 → 9/15以降
- 大学入学共通テストは；  
(1)本試験 1/16 & 17 (2)追試験 1/30 & 31 →成績提供？  
(3)特例追試 2/13 & 14 .....→成績提供？  
※共通テスト利用型の入試は、合否日程が後ろ倒しに
- 個別学力検査では、感染症等罹患者の受験機会確保のため、追試験または別日程への振り替え措置を必ず講ずること。
  - 共通テストの成績のみで判断する事も対応措置に含まれる。
- 中止・延期等になった大会・資格・検定試験等への配慮
- 出題範囲等への配慮

# インスタグラムのライブ配信を活用した 【参考2】 ミニ・オンライン説明会

- 学生たちの新勧活動からヒント
- 最長1時間。スマホアプリからのみ配信可。
- ライブ視聴者からのコメント機能で、随時反応や質問を得ることが可能であり、リアルな説明会よりも多くの反応・質問が出る。
  - 緩い非対称な双方向性が、多人数の説明会向き。
- 配信した動画はそのまま保存可能。
- ライブ配信中以外では、コメントやDMでの対応が可能。
  - スレッド型のDMメッセージはメールより流れを把握しやすい。
- ライブ配信の画面は縦方向が標準で資料提示には不向きだったり、通常の投稿やコメントではURLリンクが効かないのが残念だが、1つのアカウントで様々な機能が完結する手軽さ。

[https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/faculty/oc/online/mini\\_online.html](https://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/faculty/oc/online/mini_online.html)

[https://www.instagram.com/ycu\\_admi2055/](https://www.instagram.com/ycu_admi2055/)

Instagram

検索



ycu\_admi2055

プロフィールを編集



投稿22件

フォロワー875人

フォロー中11人

横浜市立大学 アドミッションズセンター

横浜市立大学の学部入試・広報のアカウントです。定期的にライブ配信を活用したミニ・オンライン説明会を開催しています。日程や説明資料はリンク先のWebサイトをご覧ください。

045-787-2055 (平日8:30~17:15)

[www.yokohama-cu.ac.jp/admis/faculty/oc/online/mini\\_online.html](http://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/faculty/oc/online/mini_online.html)

投稿

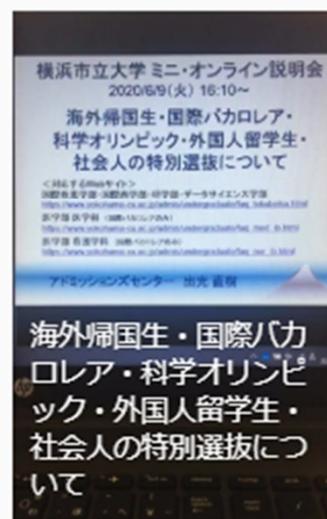
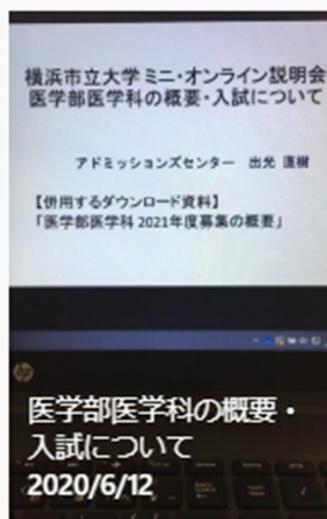
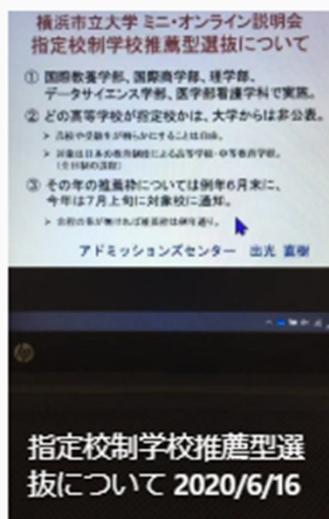
IGTV

保存済み

タグ付けされている人

動画

アップロード



ご静聴ありがとうございました。



YOKOHAMA CITY UNIVERSITY